



今年度も残すところ約1か月となりました。年度末のお忙しい中、K-ラインに目を通していただきありがとうございます。今号では、「気になる子どもへの支援」と「障害理解学習」、「栗田支援学校の寄宿舎」についてお伝えします。

「気になる子ども」をどのようにとらえ、どのように関わっていくか

小学校からよくいただく「校内の『気になる子ども』の相談」について話題にしたいと思います。

「今日の『めあて』だけやっとノートに書いて、あとは机に伏せています」「授業中は座っているが他のことを勝手にしていたり、タブレットをいじっていたりします。支援員が『今はこれをやるよ』と促しても、応じません」「体育の授業では説明を聞かずに一人で勝手に動き回っています…」先生方は、どのように対応されるでしょうか。数多く出回っている情報からヒットする対応方法を探り、実践してみて、「うまくいった」と感じる先生、「でも何か違うな」と感じた先生など、様々いらっしゃるのではないのでしょうか。または、校内で対象のお子さんの状況を聞きながら、何に困



っているのか、行動（言動）の背景には何があるのかを、あらゆる角度から分析をして対応策を考える先生方もいらっしゃると思います。手掛かりをつかむためには、複数の先生方の力が必要です。既製のQ&Aだけに頼るのではなく、チームで背景を探り手立てを生み出し、実行してみてもう良かったかを振り返り、それを積み重ねていくことが大切ではないでしょうか。

また、そうした「気になる子ども」に対し、実態に応じて個別の支援を講じていても、そこに目を向けすぎるあまり、他の子どもたちから「先生は〇〇君だけえこひいきしてる」という意見が噴出し、学級が落ち着かなくなることがあります。学級経営は、個別指導ではなく集団指導です。ベースに集団への指導がなければ、個別に配慮された指導は生かされません。「自分の友達が個別に配慮されている状況」を周囲の子どもが受け止めるためには、その子どもたちの心の器を広げる必要があります。「共感」が子どもたちの間で広がっていれば、例えば「△△さん（周囲の子ども）の座っている姿勢がいいね」の言葉掛けで、別の子どもも、さっと姿勢を正すこともあるかもしれません。学級の誰かが「できている」ところに注目し、「先生はみんなのいいところを見ているよ」とサインを出す。子どもは誰でも、自分の先生に、注目してほしいのです。先生は自分のことを見ているから、誰も攻撃しなくていいという意識がクラス全体で付けられれば、クラスの誰もが、落ち着いて学習活動に取り組むようになると考えます。



参考図書 (すべて東洋館出版社の書籍です)



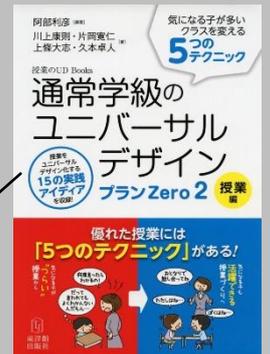
実践 通常学級ユニバーサルデザイン I
～学級づくりのポイントと問題行動への対応～

通常学級の「特別」ではない支援教育
～校内外支援体制・ユニバーサルデザイン・合理的配慮～



人的環境のユニバーサルデザイン
～子どもたちが安心できる学級づくり～

通常学級のユニバーサルデザインプラン Zero2 授業編
～気になる子が多いクラスを変える5つのテクニック～



障害理解学習について

本校では、秋田市内の小学生、中学生、高校生等を対象に、こちらから担当職員が出向いて「障害理解学習」(出前授業)を行っています。

主な内容は、小学校低学年が対象の場合は、「世の中にはいろいろな人がいる」「人はそれぞれ感じ方や考え方が違うことがある」ことや、「あたたかい言葉」を広げるためのポイント、「他者と関わる時のポイント」等です。小学校高学年や中学生以上の方が理解学習の対象になる場合は、多様性について話題にしたり、支援が必要な人と一緒に活動するときのヒントを考えたり、疑似体験をしたりします。居住地校交流の事前学習として活用していただくこともありますが、それ以外に総合的な学習の時間や道徳で「福祉」に関する学習、また、高等学校の「ボランティア養成講座」でも、理解学習の要請をいただくことがあります。

学習後にいただいた感想を一部御紹介します。「ふわふわ言葉を大切にしていきたい。〇〇くんと交流するときは、やさしく声をかけたい。」(小学生・居住地校交流の事前学習)「『普通』って難しいなと思った。」「自分では分からない他人の物事の感じ方を知り、その人との関わり方を理解することが大切だと思った。」(高校生)といった感想をいただいています。

障害理解学習の御希望がありましたら、お早めに本校地域支援部へお問い合わせください。



寄宿舎ってどんなところ？～栗田支援学校寄宿舎を紹介します～

寄宿舎では、日常の生活指導を通して基本的な生活習慣を身に付けるとともに、集団生活の中で協調性や責任感、思いやりの心を育み、自立した生活を目指して自主的に行動する力を育てることを目標にしています。仲間との集団生活を通し、学校では味わえない仲間との楽しい時間を体験することもできます。

日 課 表

起床・身支度	6:30
歯磨き・洗面	～7:00
部屋掃除	～7:15
体操	7:15
点呼	7:20
朝食	7:30 ～ 7:55
下膳・登校準備	7:55 ～
共有場所掃除	8:20～8:30
登校	(中・高音・総サ) 8:35 ※登校完了時刻 中8:45、高8:40
下校	(中) 15:05 (月・火・木・金) 13:25 (水) (高音) 15:05 (総サ) 15:20
ティータイム	15:20 ～ 15:50 (※部活生のみ)
入浴①	16:00 ～ 16:45
夕食	17:30 ～ 17:55
下膳・歯磨き	17:55 ～ (※食堂掃除)
入浴②	18:00 ～ 19:05
ティータイム	18:50 ～ 19:10
点呼	19:20
自習	19:25 ～ 20:00
入浴③	20:00 ～ 20:35
就寝準備	21:15
消灯	21:30

～ 活動の様子 ～



点 呼



寄宿舎行事 (青フェス)



花 見



花壇整備



お菓子作り



調 理

寄宿舎は通学困難な生徒のために設置されています。本校では寄宿舎への入舎対象生徒及び入舎条件を次のように定めています。

本校に在籍し、次の(1)または(2)に該当する生徒、(3)は高等部生のみが対象となります。

- (1) 居住地が遠く、通学が困難
- (2) 家庭の事情等により、通学が困難
- (3) 生活自立を目指す

※次のような場合は、寄宿舎の対応ができないことがあります。

- ・ 医療的な配慮を要する場合 (医療的ケア等)
- ・ 食物アレルギーがあり、舎食での対応が難しい場合
- ・ 基本的な身辺処理ができない場合
- ・ その他 (集団生活に支障がある場合等)

※入舎前に体験入舎 (保護者同伴) を行い、校内での入舎決定会議で入舎の可否を決定します。

※入舎を検討されている方は教育相談時にご相談ください。教育相談時の寄宿舎見学も可能です。

相談・見学の希望がありましたら、ご連絡ください

秋田県立栗田支援学校

教頭：田中紀和 教育専門監：牧野幸枝 地域支援部：照井真紀子

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10

TEL：018-828-1162 FAX：018-828-4720

ホームページ <http://www.kurita-sakita-pref.ed.jp/>

メールアドレス kurita-s@akita-pref.ed.jp

※相談は教頭まで

